

第2回検討部会における意見等への対応について（案）

No.	質疑内容	対応	資料
1	<p>【気温観測・暑さ指数観測について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・暑さ指数測定器の中でも、簡易型は設置が簡単で、屋外に放置しても問題ない。また、気温観測と WBGT 観測がこれ1台で済むため費用も安く済むため、これを使ったらどうか ・35箇所の場所の選定が重要である 	<ul style="list-style-type: none"> ・暑さ指数観測機器については、置き型5箇所を予定していましたが2箇所しか設置できず、置き型3箇所の代わりとして、簡易型7箇所を設置しました。なお、簡易型は台風などには対応していないため、台風が来る際には、事前に撤去し、台風通過後に再度設置をして観測しました。 ・気温観測については、30箇所を予定していましたが暑さ指数観測器も活用することにより38箇所を観測しました。観測場所の選定方法は千代田区全体にバランス良く設置すること、環境条件や地域特性などを考慮して選定しました。 	資料2
2	<p>【ヒートアイランド対策の技術動向】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間の技術開発の動向、また、学術研究の動向などを並行して調べていければよい 	<ul style="list-style-type: none"> ・民間の技術開発などの動向については、「資料3：3. 国及び東京都、他自治体の動向調査」にまとめました。 	資料3
3	<p>【夜間の個人宅の電力使用量測定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区民の自宅における夜間の電力使用量を測定して欲しい ・千代田区全体の電力消費量の経年推移は把握できるのではないか 	<ul style="list-style-type: none"> ・区民の自宅における夜間の電力使用量の測定については、実施する方法を見つけることが難しく実施しておりません。 ・東電パワーグリッドから、2016年～2022年の東電管内の電力使用実績データを把握しました。区分けされたデータは公表されていないため、千代田区のみ電力消費量は把握できませんでした。 	資料3
4	<p>【再開発エリアの検証】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・30箇所の中から選定する際、環境負荷低減を検討していることが考えられるので、記載の仕方に配慮が必要である ・まちづくりがヒートアイランド現象に対して、マクロの観点やヒューマンスケールの観点から、どのような効果があるのかということをしっかり形にしていきたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・再開発エリアについては、航空機による熱分布調査から地表面温度など過去の調査結果を比較し、その効果を検証しました。 	資料3

No.	質疑内容	対応	資料
5	<p>【ヒートアイランド対策実施箇所の検証】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑陰や風通しの良い場所など、対策効果が高く有効的な場所の抽出ができるのではないか ・緑化や高反射塗料など複合的に対策を実施した場所の選定が重要 ・複合的に様々な対策が行われているため、何の対策に効果があるか見えづらくなると思うため、気をつけて検証したほうが良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・緑化や遮熱性舗装などヒートアイランド対策を実施している場所や複合的に実施している場所を選定し、サーモカメラによる昼夜の観測を実施し、未実施場所と比較することによりヒートアイランド対策の効果を検証しました。 	資料 3
6	<p>【情報発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日陰のある場所の情報発信について、大丸有地区のビルの間にある公開空地进行している場所のように、ヒートアイランド対策に有効な地域資源としての情報発信をすることは有効 ・データを取るだけではなく、区民の方やその地域の環境に対してどのように役立つのか、区民の方にわかりやすく伝える必要がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒートアイランド対策の効果の高い公開空地や緑地などを選定のうえ、わかりやすく情報発信していきます。 	-
7	<p>【プラトーの活用について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「日陰などの創出や情報発信の必要性」について、国交省の3D都市モデル「プラトー」を使うと建物形状のデータが出ているので、日陰マップのようなものが簡単に出ると思うので、情報発信に使ったらどうか 	<ul style="list-style-type: none"> ・3D都市モデル「プラトー」の活用は国交省の委託事業者と調整した結果、データ量の多い大丸有地域での検証結果を踏まえ、情報発信などヒートアイランド対策計画見直しへ向けて検討していきます。 	-
8	<p>【冬季の状況について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒートアイランドというと冬季の温度も顕著に表われたりするので、そういったところが実は見えないところで生態系への影響などもあると思いますので、環境影響という視点では冬場についても見ていただけるとありがたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・冬季でのヒートアイランド現象の影響については、「資料3：10. 周辺地域とのヒートアイランド現象の比較」にまとめました。 	資料 3